

ワイヤレスイヤホンや ワイヤレススピーカーの 発火・発煙等に御注意！

近年、ワイヤレスイヤホンやワイヤレススピーカーによる火災事故、発火・発煙等の危険情報が消費者庁に寄せられ、年々増加傾向にあることから注意がよびかけられています。危険性を認識し、気をつけて使用しましょう。

相談事例

- ワイヤレスイヤホンを充電していて30分くらい経過したころ、ボツと音がし、炎が2センチくらい上がった。
- ワイヤレスイヤホンで深夜音楽を聴いていたところ充電が切れたので、電源を入れてコンセントに差し、充電しながら就寝した。焦げ臭さと煙で目が覚め、手探りでワイヤレスイヤホンを探していた際、焦げたワイヤレスイヤホンを触ってしまい右手の指を軽くやけどした。充電していたワイヤレスイヤホンは真っ黒に焦げて煙が出ていた。布団の上にあつたため布団も焦げた。
- スピーカーをリビングで充電していたら、突然破裂・発火し、他のスピーカーやスピーカーをのせていた台や壁にも火が移って溶けた。スピーカー本体の電源ケーブル差込口が一番溶けていたので、そこから火が出たと思われる。

る。メーカーに連絡したところ、純正のケーブルを使用していなかったため対応できないと言われた。

事故を防ぐために

- ☆製品本体に強い衝撃、圧力を加えない。高温の環境に放置しない。落下等により製品に衝撃を与える
- と、発火に至る可能性があります。
- また、暖房器具の近く、炎天下の車内や高温多湿の場所では、液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になりますので、使用、放置、保管しないようにしましょう。
- ☆防水の製品以外は、水をかけたり、濡れた手で触れない。
- ☆充電中は周囲に可燃物を置かない。
- 特に、就寝中に枕元で充電するのは大変危険ですので絶対にやめましょう。
- ☆異音がする、煙が出ている、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違うと感じたら使用を中止する。
- そのまま使用し続けると、発火の可能性があります。
- ☆充電ケースを布などで覆わない。
- 熱がこもりやすくなり、火災等の原因になります。
- ☆付属の充電ケーブル以外で充電しない。
- 発熱しやすくなる場合がありますので、専用のケーブルを使用しましょう。
- 専用のケーブル以外で充電し事故が発生した場合、保証が受けられなくなる可能性があります。
- ☆製品がリコール対象かどうかを確認。
- 対象品であれば使用を中止し、製品を購入した販売店や製造・輸入業者に相談しましょう。
- ☆購入する際は、製造事業者、輸入事業者や販売元が確かな製品を買う。
- インターネット通販等で製品を購入する際は、国内の問合せ先が表示されている製品を選びましょう。

